

国内外規格・認証制度研究会(第28回)議事録

【日時】 2013年11月15日(金) 15:00～17:20

【場所】 富士通総研会議室(竹芝)

【出席者(敬称略)】 加藤、日下、田代、多田、増田、折笠(記録) [出席者合計6名]

【資料】

- (1) 第28回研究会:本日の議題(折笠)
- (2) 『ISO 22313 社会セキュリティ 事業継続マネジメントシステム 手引き』の考察(加藤さん)
- (3) 【テーマ:a2】内閣府ガイドラインの変更点などの調査(途中経過)(多田さん)
- (4) 【前回議事録】国内外規格・認証制度研究会(第27回)議事録

【議事要約】

1. 最新情報共有(BCAO 情報、ISO 状況等)(折笠)

(1) B C A O 運営会議より

(a) スケジュール関係(最近の実績と予定)

- ・ 10 月度月例会(テロ・事件研究会関連):10/15(火)実施
- ・ 11 月度月例会(企業の取り組み事例等):11/19(火)実施
- ・ 初級管理者試験:12/1(東京)、12/7(大阪) 予定
- ・ 事業継続と両輪の企業防災(個別リスク対策)の講習及び意見交換:7/3(水)～3/19(水) 合計 20 回開催予定
- ・ B C A O 事業継続普及セミナー(招待講演「英国の事業継続の取り組みと企業の実例」メリッシュ氏(BCI 会長(英国最大の小売業者の元 B C 責任者))):11/11(月)東京、11/12(火)名古屋、11/13(水)大阪
- ・ 研究会及び地域勉強会の中間報告:11/26 までに提出

(2) ISO/TC223 状況(ISO,JSA より) 2013.11.12 時点

- ・ ISO 22398 [演習の指針](2013年9月13日 IS 発行、JSA より日本語対訳版 2013年10月初旬発行)
- ・ ISO/CD 22325 [組織の緊急事態対応能力評価の指針] (CD 投票終了)

(3) JIS 化状況(JSA より)2013.11.12 時点

- ・ JIS Q 22301:2013[事業継続マネジメントシステム 要求事項]
(2013年10月21日制定・発行、2,520円)
- ・ JIS Q 22300:2013[用語] (2013年10月21日制定・発行、1,680円)
- ・ JIS Q 22320:2013 [緊急事態管理 危機対応に関する要求事項]
(2013年10月21日制定・発行、1,890円)
- ・ なお、ISO 22313 [BCMS 指針]の JIS は未制定

(4) ISO 22301 国内認証取得状況(JIPDEC より)

- ・ 11月12日時点で33組織認証取得(JIS 認証1件含む。BS25999-2 認証からの移行が22社で新規取得は11社)。これに BS 認証分と非公表分を含めると全体で47組織が認証を取得。(折笠)

2. The BCM World Conference 2013(ロンドン)報告(田代さん)

先週、ロンドンで開催されたカンファレンスにスピーカーとしてご参加。内容をご紹介いただいた。

(1) 事例紹介

- ・英国携帯キャリア Telefonica UK(ブランド名:O2)の ISO 22301 認証取得
- ・Crossrail(鉄道建設中)プロジェクトの BCP 策定

(2) 調査レポート(LRQA+BCI)

BCM 規格への取り組み状況報告:準拠、認証、参考、自己流などの状況があるが、認証取得よりは、単なる準拠や参考扱いをする組織が圧倒的に多い。

(3) パネルディスカッション各国の BCM 状況

ISO 22301 認証取得はインド 10 社、イギリス約 200 社(BS 認証含む)、コロンビア他

3. 2013年度研究テーマの検討

【研究テーマ一覧】

- (a1) 海外規格や認証制度等に関する調査・研究
- (a2) 内閣府事業継続ガイドライン(平成 25 年 8 月改定)の変更点などの調査
- (a3) 地方自治体の事業継続支援対策・制度の調査
- (b1) ISO22301 各条項の関連規格の関係性の整理
- (b2) ANSI/ASIS SPC.4「組織レジリエンスマネジメントシステムの段階的実践のための成熟度モデル」の調査
- (b3) BCPに関する重要要素の規定内容の研究
- (c) ISO22301 規格に関する国内主要企業の意識調査(アンケート調査)

3.1 内閣府事業継続ガイドライン(平成 25 年 8 月改定)の変更点などの調査【テーマ a2】

(1) 内閣府ガイドラインの変更点などの調査(途中経過)(多田さん)【テーマ a2】

ガイドラインの改版における目的や経緯を整理中であり、今後、内容の比較を行う予定。

(2) 日下さん

内閣府ガイドラインの主な改定内容を調査。経営者の積極的な関与や平時の BCM の取り組みの重要性を強調。さらに地震、パンデミックなど個別事象への対応から、あらゆる危機的事象への対応への変化が改版のポイント。

各企業の BCP への対応は、地震やパンデミック対応の現状維持、オールリスクへの見直しなど、様々。

BCP は脅威別に作成すべきかどうかを整理するに当たり、ある考え方を紹介する。ISO22301 等では、被災後の経過時間によって、IMP と BCP という2つの計画で対応が行われるという考えである。このうち、IMP はパンデミックと地震では対応が全く異なるため、脅威に応じて変化するべきものである。しかし、BCP はリソースが活用できなかった場合にどうするのかという観点で見た場合、原因となる脅威にはあまり依存しないと考えられる。

違う観点で言うと、ICS(インシデントコマンドシステム)を見ると、実行部隊は脅威に応じて変化するが、それ以外は脅威に因らず活動内容は常に変わらない。

こういう考え方をすれば、BCP は脅威に因らないという整理ができるのではないかと。(田代さん)

3.2 ISO22301 各条項の関連規格の関係性の整理 [テーマ b1]

(1) 『ISO 22313 社会セキュリティ 事業継続マネジメントシステム 手引き』の考察 (加藤さん)

ISO22301 を親として、その解説を行ったものが ISO22313 である。ISO22313 は全ての箇条を解説しているわけではないため、ISO22313 のみで BCMS を理解することは難しい。

ISO22301 では言及されていない例示が多いので、考え方や具体的な適用が判りやすい。そのため、ISO22301 だけで BCMS を学ぼうとするよりは、ISO22313 を併せて調査した方が BCMS は理解しやすい。

要求事項だけで考え方や適用方法を理解することは困難であり、BCI の "Good Practice Guidelines" や DRJ/DRII の "Generally Accepted Practices" などの、より具体的な考え方の解説を併せて参照しないと、実効性のある取り組みにはならない。

(2) 田代さん

・ ISO28000 シリーズがサプライチェーンのセキュリティに関する規格であり、これと ISO22301 との対比が興味深い。ISO28001 が要求事項と使用法のガイドになっているが、これは他の規格とほぼ同様な内容であり、あまり特筆すべき点がなかった。ISO28002 はサプライチェーンにおけるレジリエンスの開発に関する規格であるが、ASIS SPC.1 組織レジリエンス規格 (BCMS 相当) をベースとしているようである。これらの調査結果については、別途紹介したい。

3.3 地方自治体の事業継続支援対策・制度の調査 [テーマ a3] (日下さん)

関西と四国の自治体の取り組みをメインに調査した。

(1) 和歌山県の取り組み

和歌山県では、BCP 普及のために普及・啓発のセミナーや訓練及び策定講座などを実施しており、平成 22 年度から継続した取り組みを実施している。また、紀陽銀行では、BCP 専門家を登録した人材バンクを持っており、専門家の派遣などに応じている。更に、経営者協会では個別相談会を開催するなどして BCP 普及に努めている。

(2) 高知県の取り組み

高知県事業者防災推進協議会が設置され、産官学のメンバーが活動している。

(3) その他の取り組み

四国では、他に香川県や徳島県が大学と連携した取り組みを実施している。

その他、東京都や静岡県、愛知県、岐阜県、大阪府など、多くの自治体で事業者を支援する取り組みが行われている。今後、更に調査を行い、対象を拡大する予定。

3.4 研究テーマの分担案

現状のテーマ分担状況は次のとおり。

- (a1)海外制度調査:多田さん
- (a3)国内制度調査:日下さん、他
- (b1)国際規格:加藤さん、田代さん、折笠
- (a2)国内ガイドライン:日下さん、多田さん
- (c)国際規格意識調査アンケート:全員

【メンバー各位への依頼事項】

テーマ分担可能で分担未決定の方は、上記のテーマ分類a1、a2、a3、b1、b2、b3、cの中から各位の分担テーマを選んでいただき、選定テーマを座長までご連絡いただいた上で、次回研究会までに検討に着手してみてください。よろしくご検討をお願いします。

3.5 2013年度の研究会活動のスケジュールの検討

- ・今年度の研究会の開催は、7月、9月、11月、1月、3月の5回を予定。

4. 次回開催予定

- ・【日時】2014年1月31日(金)15:00～17:30 富士通総研・会議室にて開催(以降、隔月開催予定)
- ・【議題】
 - (1)メンバー各位分担の研究テーマの検討状況・結果
 - (2)成果まとめ
 - (3)その他

以上